

Q125 プロトコル 重層培養した細胞組織の破碎

※本プロトコル例はユーザーからの情報に基づいています。



プロトコル

サンプル：	重層培養したヒト iPS 細胞由来心筋細胞組織
容量：	5～10mL
容器：	15mL チューブ、50mL チューブ
プローブ：	4422 (3.2mm (1/8")) (Q125 標準付属)
Amplitude：	30%
パルス：	ON 20 秒、OFF 10 秒
Total On Time：	1～3 分
その他処理条件：	氷上で超音波処理を行う

お客様のコメント

- 細胞医薬品の生化学的評価、および細胞医薬品の製造工程由来不純物評価ため、whole lysate を調製しています。
- 破碎の確認には顕微鏡観察、トータルタンパクの定量（BCA 法）、分光光度計での DNA 定量を用いています。
- 問題となる発熱や発泡は認めておらず、再現性良く破碎ができています。



ワケンビーテック株式会社